

間メディア性の実践

戦前日本映画文化における女性の創造的貢献への新たな視座

オンライン・シンポジウム

2021年12月12日(日)

早稲田大学演劇映像学会

スケジュール

- 9:00** **開会のあいさつ**
(JST) ケアスティン・フォーケンと 入倉友紀
- 9:10** **パネル 1**
(JST) ダイアン・ウェイ・ルイス (Washington University in St. Louis)
Women's Interstitial Labor and the Prewar Media Complex
- ジェーソン・コーディ・ダグラス (Yale University)
"Animator" as Gendered Appellation? Women's Work on Animated Media in Midcentury Japan
- アンドリュー・カンパーナ (Cornell University)
Three Talkies: Sound Film and the Poetry of Ōi Sachiko, the first "Modern Girl"
- 10:40** **ディスカッション**
(JST) 司会: ケアスティン・フォーケン
- 11:10** 休憩(20分)
- 11:30** **パネル 2**
(JST) 入倉友紀 (早稲田大学/日本学術振興会)
 松井千枝子——スター女優、そして脚本家として
- ケアスティン・フォーケン (早稲田大学/日本学術振興会)
*Okada Yoshiko's Self-Produced 'Record Talkie' Edo Komoriuta (1930) and Women's Intermedial Work Beyond the Japanese Studio System**
- *Including a rare partial screening of the short film
Edo Komoriuta, 1930, Okada Yoshiko Production
『江戸子守唄』 (1930年、岡田嘉子プロダクション製作)
With kind support from the National Film Archive of Japan
- 12:30** **ディスカッション**
(JST) 司会: ヨハン・ノルドストロム (都留文科大学)
- 13:00** 休憩(4時間)

- 17:00 **パネル 3**
(JST) 富田美香 (国立映画アーカイブ)
 『場』への誘い — 新民謡・ご当地小唄映画と葭町二三吉 —
- 湯川史郎 (ボン大学)
 『嘆きの天使』の受容と再生産
 1930年代前半日本の文化・娯楽産業におけるメディア横断的実践の一事例として
- 小松弘 (早稲田大学)
 女性の漸進的モダニティー、1935年以前の日本映画における髪と鬘
- 18:30 **ディスカッション**
(JST) 司会: 入倉友紀
- 19:00 **閉会のあいさつ**
(JST) ケアスティン・フォーケンと 入倉友紀

主催：早稲田大学映画史ゼミ(小松弘教授)

共催：早稲田大学演劇映像学会

主催者：ケアスティン・フォーケン(博士号取得、現在日本学術振興会外国人特別研究員として早稲田大学に在籍)

共同主催者：入倉友紀(早稲田大学大学院博士後期課程在籍、日本学術振興会特別研究員DC1)

シンポジウムへの参加をご希望の方は、performing.intermediality@gmail.com宛に参加の旨をご連絡下さい。追ってZoomへのリンクをお送りいたします。